

令和3年度

事業報告書



社会福祉法人 鹿屋市社会福祉協議会

I 令和3年度事業実績概要

少子高齢・人口減少社会の進行に伴い、地域の相互扶助機能が低下している中、コロナ禍において、地域における福祉課題はますます複雑化・複合化しております。

国においては、こうした課題を抱える人々が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らしていけるよう、地域住民が互いに支え合いながら地域をともにつくる「地域共生社会」の実現に向けて、地域づくりの強化や包括的支援体制の整備を進めており、社会福祉協議会には、これらの課題解決に向け、関係団体等との「連携・協働の場」としての役割を発揮し事業展開することが求められております。

このような状況の中で、令和3年度も前年度に引き続き1年を通して新型コロナウイルスの影響を受けながらも、当会では、「市民誰もがいきいきと安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向けて、下段に記載の7つの重点項目を掲げ、地域福祉活動を推進するため、新型コロナウイルス感染予防に努めながら、行政をはじめ町内会、民生委員・児童委員、社会福祉関係機関等と連携を図り、地域福祉協議会の設立やふれあいサロン活動支援など、コロナ禍でも地域福祉活動を停滞させないよう取り組んでまいりました。

令和2年3月から始まった新型コロナに伴う生活福祉資金特例貸付では、年齢や性別・国籍等を問わず相談者に寄り添った支援に努め、その結果、令和4年3月末現在の相談件数は2,200件超となっております。

また、日頃の生活にも困窮している世帯の相談も増加し、公的福祉制度の狭間にある世帯等に対して、かごしまおもいやりネットワーク事業や共同募金配分金を活用した経済的支援や食糧支援等を実施するなど、困窮世帯への援助に努めてまいりました。

介護保険事業については、厳しい経営状態が続く中、地域住民や民生委員、地域包括支援センター等と連携を図り、利用者に寄り添ったサポートに努めるとともに令和5年度からの新体制に向けて着実に準備を進めてまいりました。

財政基盤の強化については、新たな財源の確保として寄附付き自動販売機の導入や民間企業とタイアップした寄附付き商品の開発準備に努めました。

また、広報・啓発活動では、福祉プラザ内ロビーに社協活動を紹介するパネルを設置し、広く市民に周知するとともに、展示内容を定期的に更新するなど社協活動の見える化に努めました。

《 重点項目 》

- 1 社会福祉協議会の事業・組織・財政の基盤強化と広報・啓発活動の充実強化
- 2 地域福祉活動の推進
- 3 権利擁護推進センターの円滑な運営と高齢者等の権利擁護
- 4 障がい者基幹相談支援センターの相談支援体制の整備と関係機関との連携強化
- 5 市指定管理施設の適正な管理運営と利用促進
- 6 介護保険事業の新規運営体制への移行準備
- 7 災害救援活動の支援体制の構築

Ⅱ 事業実績

総務課所管

1 法人運営事業の実施

(1) 理事会や評議員会等の開催

法人の業務を適切に執行するため、理事会や評議員会等を開催した。

① 理事会の開催 (4回)

開催日	出席者数	審議事項等
第1回 5月25日(火)	理事 11人 監事 2人 計 13人	【議案】 <ul style="list-style-type: none">令和2年度事業報告の承認令和2年度会計収支決算の承認令和3年度会計補正予算(第1号)の承認経理規程の一部改正会員規程の一部改正次期理事候補者の推薦次期監事候補者の推薦次期評議員候補者の推薦評議員選任・解任委員会委員の選任評議員選任・解任委員会の招集定時評議員会の招集 【報告】 <ul style="list-style-type: none">会長の職務執行状況(令和2年度)介護保険事業見直し作業のスケジュール
第2回 6月18日(金)	理事 10人 監事 3人 計 13人	【議案】 <ul style="list-style-type: none">会長、副会長の選定第三者委員の選考
第3回 11月15日(月)	理事 12人 監事 3人 計 15人	【議案】 <ul style="list-style-type: none">令和3年度会計補正予算(第2号)の承認第2回評議員会の招集 【報告】 <ul style="list-style-type: none">会長の職務執行状況(令和3年4月～9月)
第4回 3月18日(金)	理事 11人 監事 2人 計 13人	【議案】 <ul style="list-style-type: none">令和3年度会計補正予算(第3号)の承認令和4年度事業計画令和4年度会計収支予算事務局規程の一部改正事務処理規程の一部改正職員就業規則の一部改正職員の育児・介護休業等に関する規則の全部改正経理規程の一部改正

		<ul style="list-style-type: none"> ・役員・評議員・委員の報酬等に関する規程の一部改正 ・公用車管理規程の一部改正 ・理事候補者の推薦 ・第三者委員の選考 ・第3回評議員会の招集 【報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・会長の職務執行状況(令和3年4月～令和4年2月) ・介護保険事業見直し作業の進捗状況
--	--	--

② 評議員会の開催 (3回)

開催日	出席者数	審議事項等
第1回 (定時評議員会) 6月9日(水)	評議員 20人 監事 1人 計 21人	【議案】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告の承認 ・令和2年度会計収支決算の承認 ・令和3年度会計補正予算(第1号)の承認 ・次期理事の選任, 次期監事の選任 【報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業見直し作業のスケジュール
第2回 11月24日(水)	評議員 15人	【議案】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度会計補正予算(第2号)の承認 【報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付状況
第3回 3月28日(月)	評議員 19人	【議案】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度会計補正予算(第3号)の承認 ・令和4年度事業計画 ・令和4年度会計収支予算 ・役員・評議員・委員の報酬等に関する規程の一部改正 ・理事の選任 【報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業見直し作業の進捗状況

③ 正副会長の開催 (3回)

開催日	出席者数	審議事項
第1回 5月20日(木)	3人	第1回理事会及び定時評議員会上程議案
第2回 11月1日(月)	3人	第3回理事会及び第2回評議員会上程議案
第3回 3月7日(月)	3人	第4回理事会及び第3回評議員会上程議案

④ 監事監査の実施 (1回)

開催日	出席者数	監査事項
5月18日(火)	3人	令和2年度業務執行の状況及び会計収支決算等

(2) 評議員選任・解任委員会の開催

次期評議員を選任するため、評議員選任・解任委員会を開催した。

開催日	出席者数	審議事項
6月8日(火)	4人	次期評議員の選任(25人)

(3) 諸規則・規程の改正

法改正や組織改編等に基づき、当会規則・規程の全部改正と一部改正を行った。

2 規則	職員就業規則(一部改正), 職員の育児・介護休業等に関する規則(全部改正)
6 規程	経理規程, 会員規程, 事務局規程, 事務処理規程, 役員・評議員・委員の報酬等に関する規程, 公用車管理規程 (以上 6 規程: 一部改正)

(4) 組織の改編と事務・事業推進体制の見直し

経営の健全化や事務・事業推進体制の見直しを図るため、組織の改編と事業評価を行った。

① 組織の改編

改編前	在宅福祉サービス課	改編月日	4月1日～
改編後	在宅福祉サービス室(総務課所管)		

② 事業評価(振り返り)の実施

対象事業(サービス区分)	実施期間
22事業(自主事業・補助事業・受託事業・指定管理事業)	10月7日～12月24日

(5) 財政基盤・財務規律の強化

持続可能で健全な法人運営のため、財政基盤・財務規律の強化に努めた。

① 社会福祉法人会計基準や経理規程に基づく、適正な財務会計事務の執行

ア 会計処理等業務の指導, 助言等の委託(風呂井会計事務所)
イ 給与・賞与代行, 年末調整業務の委託(風呂井会計事務所)
ウ 積立資産の資金運用等に係る情報収集(証券会社)
エ 固定資産等財産の適正管理
オ 内部監査の実施(11月26日)

② 自主財源・公的財源の確保, 経費節減の実施

ア 自主財源	・会費, 寄附金, 共同募金配分金の安定的確保 ・広告掲載事業の実施(社協だよりに企業等の広告を掲載: 4回) ・寄附金付き清涼飲料水自販機の設置(2台) ・県電機商業組合鹿屋支部様と寄附金付き商品開発に向け協議
イ 公的財源	・補助金, 受託金等の安定的確保
ウ 経費節減	・随意契約の見直し(複数業者から見積書を徴取) ・電力入札の実施(社会福社会館, 輝北ふれあいセンター)

(6) 広報・啓発活動の充実強化

当会の事業等について、市民や関係機関・団体等に対し周知するなどし、広報・啓発の充実強化に努めた。

① 社協だよりの発行(4回)

号数	発行日	発行部数	備考
第52号	4月28日	42,000部	町内会全戸等に配布 (A4, 8頁, 両面カラー印刷)
第53号	7月13日	42,000部	
第54号	10月28日	42,000部	
第55号	1月13日	42,000部	

② 各支所広報誌の発行（3回）

区分	広報誌の名称	発行月／配布部数
吾平支所	吾平福祉ふれあい便り	10月発行 吾平地域の町内会 2,479 世帯に配布 3月発行 吾平地域の町内会 2,481 世帯に配布
串良支所	かのや社協だより「串良版」	3月発行 串良地域の町内会 4,038 世帯に配布

③ 当会ホームページによる広報や情報提供（随時）

区分	実績件数	対前年度比	備考
掲載件数	42件	△10件	イベント・講習会，職員採用情報等
改正件数	3件	±0件	社協事業掲載事項の変更
閲覧件数	29,248件	△4,217件	ホームページの検索件数

④ その他

本所・本所分室及び各支所の施設内ロビー等に当会事業紹介パネルの展示（常設）

(7) 社協会員制度の周知と加入促進

当会会員制度について，社協だよりに掲載するなどし，周知と加入促進に努めた。

会員の種類	会費の金額	加入実績	会費実績	対前年度比
一般会員	1世帯 300円	19,214世帯	5,764,220円	△61,330円
団体会員	1口 3,000円	37団体(73口)	219,000円	30,000円
特別会員	1口 10,000円	53会員(64口)	640,000円	130,000円
合計			6,623,220円	98,670円

(8) 社会福祉功労者・団体の表彰

永年にわたり，社会福祉事業に功績のあった個人・団体等に対して，当会表彰規程に基づき表彰を行った。

① 表彰状と記念品の贈呈

贈呈先	団体	6団体	個人	4人
		<ul style="list-style-type: none"> ・平南地区近隣福祉ネットワーク ・高尾地区近隣福祉ネットワーク ・市成地区近隣福祉ネットワーク ・百引地区近隣福祉ネットワーク ・花ことい ・まちを明るくする会 		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア個人(1人)，社会福祉事業従事者(3人)

② 感謝状の贈呈

贈呈先	団体	5法人	個人	2人
		<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人永生会 特別養護老人ホーム慈恵園 ・社会福祉法人以和貴会 特別養護老人ホーム以和貴苑 ・社会福祉法人鹿屋恵友会 特別養護老人ホーム花岡の里 ・社会福祉法人愛光会 総合サポートセンターラン ・株式会社 久永 		<ul style="list-style-type: none"> ・多額寄附者

(9) 職員の確保と育成

① 正規職員採用試験の実施

ア 受験応募者数	23人(男性9人, 女性14人)			
イ 採用試験実施日 及び受験者数	第一次試験	10月17日(日)	受験者数	16人
	第二次試験	11月21日(日)		8人
ウ 採用候補者選考委員会	10月7日(木)・11月1日(月)・11月21日(日)開催			
エ 採用年月日・人数	採用年月日	令和4年4月1日		
	採用人数	2人(女性)		

② 職員の育成

ア 階層別研修の実施 (新規採用職員2名)	・内部研修(3日間:社協業務全般等) ・外部研修(2日間:社会福祉施設等新任職員研修)
--------------------------	--

(10) 職員の労務管理, 健康管理

労働法令等に基づき, 適正に職員の労務と健康の管理等を行った。

ア 職員の健康診断, ストレスチェックの実施	1回(全職員が対象)
イ 産業医による職場巡視(健康相談)	8回(本所, 本所分室, 輝北支所)
ウ 衛生委員会の開催	12回
エ 新型コロナウイルス感染対応マニュアルの作成	9月6日
オ 労働災害防止対策の実施	転倒予防マットの設置(輝北)

(11) 経営の透明性の確保と情報公開

当会運営の透明性を確保するため, 法令に基づき, 情報公開を行った。

ア 法令に基づく情報公開(社会福祉法人現況報告書を市に提出)	6月30日
イ 当会ホームページ掲載等による情報公開(定款, 予算, 決算等)	随時

(12) 役職員等の研修

当会役職員を対象に, 自主研修を実施, また外部機関・団体等が実施する研修会等に参加するなどし, 役職員の資質と専門性の向上に努めた。

① 役員等研修会に参加(県社協・市主催の監事等研修)

実施回数	2回	延べ出席者数	2人
------	----	--------	----

② 理事・監事・評議員・職員研修会の実施

実施回数	2回	延べ出席者数	57人
------	----	--------	-----

③ 職員研修会の実施

実施回数	2回	延べ出席者数	30人
------	----	--------	-----

④ 県社協等外部機関・団体等が主催する研修会等に参加

研修回数	82回	延べ参加人数	165人
------	-----	--------	------

(13) 地域における公益的な取り組みの実施

新型コロナウイルス感染症拡大のため, 市民の健康増進等を目的とした健康講座の開催を中止した。

(14) 福祉人材等の育成

社会福祉士, 看護師を目指す学生に, 人材育成の一環として, 次の実習の場を提供した。

大学・学校名	人数	内容	実習期間(日数)
九州保健福祉大学	2人	ソーシャルワーク実習	8月16日～9月16日(24日間)

鹿屋看護専門学校	25人	老年看護学実習	1月17日～2月25日(24日間)
----------	-----	---------	-------------------

(15) 鹿屋市民生委員児童委員協議会事務局業務の受託

市民生委員児童委員協議会の事務局業務を受託し、関係機関・団体等と連携し業務を行った。

業務内容	業務実績
ア 会務の運営	会計, 庶務, 表彰等
イ 会議等の開催	総会(1回), 役員会(12回), 会長会(11回), 会長・副会長会(1回) 地域交流会企画委員会(1回), 監事監査(1回)
ウ 研修の実施	全体研修会(1回), 会長・副会長研修会(1回), 会計担当者研修会(1回), 会長・主任児童委員との合同研修会(1回)
エ その他	県民生委員児童委員協議会等他機関主催の各種研修会等に参加

(16) 関係機関・団体等との連携・協調

当会の運営及び事業実施のため、関係機関・団体との連携・協調に努めた。

2 鹿屋市社会福祉会館の管理運営

民間福祉団体等の活動の拠点として、適切かつ効率的な管理・運営に努めた。令和3年度は、オンライン研修等による会議室の使用が増えた影響で、前年度と比較して利用者が増加した。

- (1) 利用件数 411件 (対前年度比 184件の増)
- (2) 利用者数 3,240人 (対前年度比 1,278人の増)
- (3) 区分別利用件数及び利用者数

区分	利用件数	利用者数
社協関係	370件	2,719人
福祉団体	1件	32人
福祉協力団体	38件	473人
行政関係	2件	16人
合計	411件	3,240人

(4) その他

2階女子トイレの修繕工事の実施

3 鹿屋市指定管理施設の適正な管理運営

高齢者や障がい者をはじめ、すべての市民が健康でいきいきと自立した生活を営み、社会参加活動を行うと共に、誰もが気軽に交流を深めることができる地域福祉活動の拠点施設として、サービスの質の向上と運営の効率化に留意し、適切な運営管理に努めた。

(1) 鹿屋市市民交流センター福祉プラザの管理運営

① 利用実績等

利用件数	3,633件 (対前年度比: 542件の減)
利用者人数	21,099人 (対前年度比: 971人の減)
事故・苦情件数	事故件数: 0件 (対前年度比: 増減なし)
	苦情件数: 0件 (対前年度比: 増減なし)

② 福祉プラザ利用団体の登録，連絡会の開催等

ア 福祉プラザ利用登録団体の登録（令和4年3月31日現在）

登録団体数	64団体 [内, 新規登録団体数：3団体] (対前年度比：3団体の増)
-------	-------------------------------------

イ 福祉プラザ利用登録団体の登録継続・抹消に係る意向調査の実施

内 容	福祉プラザ利用登録団体の登録継続・抹消に係る意向調査
方 法	令和4年2月9日に，登録団体へ調査票を郵送
件数（調査）	63団体（令和4年2月9日現在の登録団体数）
結 果	・福祉プラザ利用登録団体の登録継続を希望する：62団体 ・福祉プラザ利用登録団体の登録抹消を希望する：1団体

※福祉プラザ利用登録団体連絡会は，新型コロナウイルス感染予防のため開催中止

③ 高齢者入浴サービス事業の実施

日 時	月曜日から金曜日まで（祝日，年末年始を除く）10:00～15:00	
場 所	リナシティかのや（2階）福祉プラザ内男女浴室	
対 象 者	65歳以上の市民，又は高齢者クラブ加入者	
実 施 日 数	222日	※休館による入浴サービスの中止（20日間）
延べ利用者数	3,140人（対前年度比：59人の減）	
1日の平均利用者数	14人（対前年度比：増減なし）	
そ の 他	看護師を配置して健康確認（血圧測定等）や相談，利用者の安全確認等	

④ 福祉プラザ通信の発行及び配布

発行回数	12回（第159号～第170号）
発行内容	社協実施事業（ファミリーサポートセンター，心配ごと相談，つどいの広場りな等），高齢者入浴サービスの案内，福祉ロビー展示の紹介 他
発行部数	毎月約5,000部発行（町内会へ回覧，公共施設等へ配布）

(2) 鹿屋市輝北ふれあいセンターの管理運営

① 利用者数 24,851人（利用者内訳は下記のとおり）

区 分	年間利用者数(対前年度比)	区 分	年間利用者数(対前年度比)
社協関係	3,162人(29人の増)	温泉公衆浴場	16,888人(1,798人の減)
福祉団体	322人(209人の増)	やすらぎサロン	3,030人(409人の増)
福祉協力団体	271人(108人の増)	その他(一般)	870人(115人の減)
鹿屋市関係	308人(65人の増)	合 計	24,851人(1,093人の減)

② 温泉入浴サービス事業の実施（温泉公衆浴場利用実績）※（ ）は前年度対比

営業日数及び時間	290日（4～10月）9:00～20:00，（11～3月）9:00～19:00					
利用 実績	大人 (1回)	男	7,128人(846人の減)	大人 (1日)	男	2人(20人の減)
		女	9,380人(894人の減)		女	147人(15人の減)
	子供 (1回)	男	115人(7人の減)	合 計	16,888人	
		女	116人(16人の減)		(1,798人の減)	
1日平均利用者数	58人（2人の減）					

③ 輝北ふれあいセンター運営協議会の開催（2回）

日 時	【第1回】令和3年7月26日（月）13:30～14:30
	【第2回】令和4年3月22日（火）10:30～11:10

場 所	輝北ふれあいセンター 会議室
協議内容	【第1回】今後の各事業の取り組みについて（活性化策等）
	【第2回】輝北ふれあいセンターの活性化策等
出席者数	【第1回】委員6人，【第2回】委員5人

④ きほくやすらぎ食堂，きほくやすらぎ市場の営業

区 分	きほくやすらぎ食堂	きほくやすらぎ市場
内 容	食事(昼食)の提供	地元農産物等の販売
営業日数	44日(毎週：1回)	116日(毎週：3回)
利用者数	1,391人	1,537人
売 上 金	619,700円	877,995円
委 託 先	あじさい(輝北地域住民有志のグループ)	NPO法人 輝北キラキラ館

⑤ その他

- ア 子育てサロン「てるぽっく」に対する活動支援（12回）
- イ 高齢者サロンや福祉関係団体等への施設利用促進（随時）
- ウ 輝北ふれあいセンター多目的広場の利用促進（高齢者クラブ・GG協会）等
※輝北ふれあいセンター杯グラウンドゴルフ大会は，新型コロナウイルス感染症
拡散により開催中止

4 肝属地区障がい者基幹相談支援センター事業の実施

令和元年度から事業の全面受託に伴い，鹿屋市や社会福祉法人からの出向等により相談員等を配置して，障がい者，障がい児及びその保護者又は障がい者等の介護を行う者などからの相談に応じ，必要な情報の提供や，権利擁護のために必要な援助を行うことにより，障がい者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支援を行った。

(1) 業務従事者数（8名）

- ① センター長 1人（出向元：鹿屋市）
- ② 相 談 員 5人（出向元：社会福祉法人 愛光会・岳風会・恵仁会・天上会・育友会）
- ③ 相 談 員 1人（社協直接雇用：嘱託）
- ④ 事務補助員 1人（社協直接雇用：パート）

(2) 業務内容

- ① 障がい者相談支援事業（障がい者・家族等を主な対象）
- ② 相談支援事業（事業者を主な対象）
- ③ 地域生活支援拠点等の整備に向けた各機能の仕組み作り
- ④ 肝属地区障がい者基幹相談支援センター運営協議会の運営
- ⑤ 肝属地区障がい者自立支援協議会の運営の補助
- ⑥ 肝属地区障がい者虐待防止センター

(3) 実施区域

肝属地区2市4町（鹿屋市・垂水市・肝付町・東串良町・錦江町・南大隅町）において巡回相談を定期的の実施した。

(4) 開設日及び開設時間

開設日	開設時間	休日
月～金	8:30～17:00	日曜日, 祝日
土	8:30～17:00 (原則 電話相談のみ)	年末年始 (12/29～1/3)

※上記開設以外については, センター代表番号への電話を携帯電話に自動転送し, 24時間体制を確保する。ただし, 原則として緊急を要する場合のみの対応とする。(令和3年1月より開始)

(5) 相談支援体制の充実・強化

① Web会議システムの導入

Web会議システムを導入し, 参集することなく各種会議, 研修, 相談支援業務等をリモートで実施することにより事務の効率化やコロナウイルス感染症対策に対応した。

② リモートワークの環境整備

自宅のパソコンからセンターにアクセスし業務が行えるよう環境整備したことにより, 移動先での業務が可能になるなど事務の効率化とともに, コロナウイルス感染症対策としてのテレワーク勤務が可能となった。

③ 精神障がい者ピアサポーター活用事業

【事業目的】

- 啓 発 活 動 ⇒ピアサポーターの体験談発表を通じて, 精神障がいをより多くの方々に理解してもらう。
- 相 談 支 援 ⇒支援対象者を理解し, 寄り添うことで, 支援対象者はもとより, 家族, 関係事業所, 関係機関の支援につなげる。
- ネットワーク形成⇒当事者会, 家族会, サロン等のグループ活動をサポートすることで, 関係者のネットワーク形成の一助とする。

【事業実績】

- ・体験発表 3回実施 (参加者計 88名)
- ・ピアサポーター養成講座 (参加者 9人)
(そお地区障がい者等基幹相談支援センターとの共同開催)
- ・ピアサポーターを活用した個別支援 対象者 2名
- ・当事者会「心のはね会」が発足。(令和3年4月から月2回の継続実施中)

(6) 相談実績

区分	分類	件数	対前年度比	月平均	内訳(%)
相談実人数 【障害別】	身体障害	43	△28	3.6	8.6
	重症心身障害	5	△5	0.4	1.0
	知的障害	67	△20	5.6	13.5
	精神障害	141	△28	11.8	28.3
	発達障害	9	△19	0.8	1.8
	高次脳機能障害	2	1	0.2	0.4
	その他	231	33	19.3	46.4
	合計	498	△66	41.5	100
相談延件数 【方法別】	訪問	1,059	△8	88.3	19.8
	来所	336	56	28.0	6.3

	同行	324	100	27.0	6.0
	電話	2,246	622	187.2	41.9
	メール	145	△186	12.1	2.7
	個別支援会議	108	2	9.0	2.0
	関係機関	1,096	△887	91.3	20.5
	その他	43	4	3.6	0.8
	合計	5,357	△297	446.4	100
相談延件数 【内容別】	福祉サービス利用	2,178	268	181.5	28.8
	障害者症状の理解	17	△24	1.4	0.2
	健康・医療	620	△498	51.7	8.2
	不安の解消・情緒安定	910	171	75.8	12.0
	保育・教育	173	△177	14.4	2.3
	家族関係・人間関係	348	△75	29.0	4.6
	家計・経済	794	△136	66.2	10.5
	生活技術	1,286	△232	107.2	17.0
	就労	124	△64	10.3	1.6
	社会参加・余暇支援	54	△11	4.5	0.7
	権利擁護	56	△21	4.7	0.8
	その他	1,003	316	83.6	13.3
		合計	7,563	△483	630.3

5 権利擁護推進センターの円滑な運営と高齢者等の権利擁護の推進

高齢者や障がい者等の意思能力や生活状況に応じ、成年後見制度や福祉サービス利用支援事業を活用して、権利擁護支援の推進を図った。

(1) 成年後見業務の実施

家庭裁判所からの選任により、判断能力が不十分な認知症高齢者や精神障がい者等の法律面や生活面を支援する法人後見業務を行った。

① 年間実績

・前年度末受任人数	12人
・新規受任人数	2人〔後見2人〕
・後見終了人数	2人〔後見2人〕
・受任人数(3月末現在)	12人〔後見10人, 保佐2人〕
・延受任人数	25人
・年間支援人数	657人〔入退院手続き, 死後事務等〕
・相談件数	15件〔制度説明, 後見事務等〕

② 鹿屋市北部地区介護支援専門員連絡会における事業説明

- ・日時 令和3年10月6日(水) 14:00~15:30
- ・場所 鹿屋市社会福祉会館〈オンライン開催〉
- ・参加者 31人

③ 鹿屋市権利擁護実務者会議への参加

《第1回》

- ・日 時 令和3年4月22日(木) 10:00~11:00
- ・場 所 鹿屋市役所 2階 202会議室
- ・参加者 1人

《第2回》

- ・日 時 令和3年9月1日(水) 10:00~11:00
- ・場 所 鹿屋市役所 3階 301会議室
- ・参加者 1人

《第3回》

- ・日 時 令和3年12月22日(水) 10:00~11:30
- ・場 所 鹿屋市役所 2階 202会議室
- ・参加者 2人

④ 成年後見制度担当者研修会(鹿児島県主催)への参加

《第1回》

- ・日 時 令和3年7月12日(月) 13:30~15:30
- ・場 所 鹿屋市社会福祉会館〈オンライン開催〉
- ・参加者 2人

《第2回》

- ・日 時 令和3年11月18日(木) 13:30~15:30
- ・場 所 鹿屋市社会福祉会館〈オンライン開催〉
- ・参加者 2人

(2) 福祉サービス利用支援事業の実施

福祉サービスの利用や日常的な金銭管理に関して、自分ひとりでは判断が困難な方に対して、「福祉サービスの利用援助」「日常的な金銭管理サービス」「書類等の預かりサービス」を提供し、住み慣れた地域で安心した生活が送れるように支援を行った。

① 年間実績

・前年度末利用人数	96人
・新規契約人数	1人
・解約・終了人数	21人
・現在の実利用人数	76人(令和4年3月31日現在)
・年間支援人数	97人
・年間支援回数	1,150回
・相談件数	83件

② 令和3年度福祉サービス利用支援事業現地訪問調査

- ・日 時 令和3年10月20日(水) 13:30~15:00
- ・場 所 鹿屋市社会福祉会館
- ・調査実施者 鹿児島県社会福祉協議会福祉サービス運営適正化委員会事務局 2人
- ・出席者 3人

- ③ 第1回福祉サービス利用支援事業専門員会議（オンライン開催）
 - ・日 時 令和3年8月3日(火) 10:45～15:00
 - ・場 所 鹿屋市社会福祉会館
 - ・参加者 1人
- ④ 福祉サービス利用支援事業利用支援員研修会
 - ・日 時 令和3年11月4日(木) 13:00～15:50
 - ・場 所 リナシティかのや 情報研修室
 - ・参加者 2人
- ⑤ 第2回福祉サービス利用支援事業専門員会議及び専門員セミナー(オンライン開催)
 - ・日 時 令和4年3月1日(火) 10:45～15:20
 - ・場 所 鹿屋市社会福祉会館
 - ・参加者 2人

6 介護保険事業の実施

(1) 居宅介護支援事業【鹿屋居宅一本所分室，輝北居宅一輝北支所】

高齢者等が居宅において、適切な保健医療及び福祉サービスを多様な事業所から総合的かつ効率的に提供され、自立した質の高い日常生活が送れるように、介護相談及び介護計画書（ケアプラン）の作成等の支援を行った。

- ① 居宅介護支援事業所職員数 8人（対前年度比 増減なし）
- ② 居宅介護支援利用者実人数 237人（対前年度比 51人の減）

区 分	鹿屋居宅	輝北居宅	合 計
予防給付	5人	19人	24人
介護給付	126人	87人	213人
合 計	131人	106人	237人

- ③ 介護度別ケアプラン作成件数 2,160件（対前年度比 340件の減）

区 分	鹿屋居宅	輝北居宅	合 計
要支援1	0件	66人	66件
要支援2	43件	145件	188件
事業対象	0件	14件	14件
小 計	43件	225件	268件
要介護1	320件	203件	523件
要介護2	365件	164件	529件
要介護3	160件	72件	232件
要介護4	207件	236件	443件
要介護5	98件	67件	165件
小 計	1,150件	742件	1,892件
合 計	1,193件	967件	2,160件

- ④ 住宅改修理由書作成件数 15件（対前年度比 5件の減）

区 分	鹿屋居宅	輝北居宅	合計
理由書作成	9件	6件	15件

(2) 訪問介護事業【本所分室】

訪問介護員が利用者の居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・排泄及び食事等の身体介護、調理・洗濯及び掃除等の家事援助、日常生活に関する相談及び助言その他の生活全般にわたる援助及び支援を行った。

- ① 訪問介護事業所職員数 21人（対前年度比 1人の減）
- ② 訪問介護利用者実人数 108人（対前年度比 増減なし）
- ③ 訪問介護利用回数 6,967回（対前年度比 1,729回の減）
- ④ 介護度別利用者数及び利用回数

区 分	年 間			月平均	
	実人数	延人数	利用回数	利用者数	回 数
要支援1	12人	95人	534回	7.9人	44.5回
要支援2	31人	272人	1,702回	22.7人	141.8回
事業対象	6人	49人	210回	4.0人	17.5回
小 計	49人	416人	2,446回	34.6人	203.8回
要介護1	26人	190人	1,155回	15.8人	96.2回
要介護2	19人	210人	2,176回	17.5人	181.3回
要介護3	8人	45人	681回	3.8人	56.8回
要介護4	6人	40人	509回	3.3人	42.4回
要介護5	0人	0人	0回	0人	0回
小 計	59人	485人	4,521回	40.4人	376.7回
合 計	108人	901人	6,967回	75.0人	580.5回

- ⑤ サービス内容別利用回数

区 分	年間利用回数	月平均
身体介護中心	892回	74.3回
身体介護・生活援助	910回	75.8回
生活援助中心	5,165回	430.4回
合 計	6,967回	580.5回

(3) 訪問入浴介護事業【本所分室】

訪問入浴車でその居宅を訪問して浴槽を提供し、看護職員及び介護職員が要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、居宅における入浴の介助を行った。

- ① 訪問入浴介護事業所職員数 18人（対前年度比 増減なし）
- ② 訪問入浴車保有台数 4台（対前年度比 増減なし）
- ③ 訪問入浴介護利用者実人数 70人（対前年度比 増減なし）
- ④ 年間訪問入浴介護利用回数 1,525回（対前年度比 107回の減）
- ⑤ 介護度別利用者数及び利用回数

区 分	実人数	延人数	利用回数	月平均	1人あたり月平均回数
要介護1	1人	1人	2回	0.1回	0.17回
要介護2	3人	9人	22回	1.8回	0.61回
要介護3	8人	32人	105回	8.8回	1.09回
要介護4	17人	96人	501回	41.8回	2.46回

要介護5	41人	188人	895回	74.6回	1.82回
合計	70人	326人	1,525回	127.1回	1.82回

7 障害者福祉サービス事業の実施

利用者が居宅において安心して日常生活を営むことができるよう、訪問介護員等が入浴・排泄及び食事等の身体介護、調理、洗濯及び掃除等の家事援助、生活等に関する相談及び助言並びに外出時における同行援護及び移動支援、その他の生活全般にわたる支援を行った。

(1) 障害者居宅介護事業

- ① 居宅介護事業所職員数 21人（対前年度比 1人の減）
- ② 居宅介護利用者実人数 29人（対前年度比 9人の減）
〔内訳：身体12人，知的4人，精神13人〕
- ③ 居宅介護利用回数 3,108回（対前年度比 191回の減）
- ④ サービス内容別利用者数及び利用回数

区分	実人数	延人数	利用回数	月平均
身体介護中心	2人	24人	276回	23.0回
家事援助中心	26人	280人	2,825回	235.4回
通院等介助	1人	6人	7回	0.6回
合計	29人	310人	3,108回	259.0回

(2) 同行援護事業（視覚障がい者に対する外出支援等）

- ① 同行援護利用者実人数 9人（対前年度比 1人の減）
- ② 同行援護利用回数 647回（対前年度比 194回の減）

区分	実人数	延人数	利用回数	月平均
同行援護	9人	91人	647回	53.9回

(3) 障害者移動支援事業

- ① 移動支援利用者実人数 3人（対前年度比 1人の増）
- ② 移動支援利用回数 8回（対前年度比 5回の減）

区分	実人数	延人数	利用回数	月平均
身体介護有り	2人	4人	5回	0.4回
身体介護無し	1人	2人	3回	0.3回
合計	3人	6人	8回	0.7回

(4) 障害者訪問入浴サービス事業

- ① 訪問入浴サービス従事者数 18人（対前年度比 増減なし）
- ② 訪問入浴車保有台数 4台（対前年度比 増減なし）
- ③ 訪問入浴利用者実人数 9人（対前年度比 1人の減）
- ④ 訪問入浴利用回数 685回（対前年度比 45回の減）

区分	実人数	延人数	利用回数	月平均	1人あたり月平均回数
訪問入浴	9人	94人	685回	57.1回	6.3回

地域福祉課所管

1 地域力強化推進事業（地域福祉事業）


2名の地域福祉コーディネーターを配置し、すべての人々が共に助け合い、生きがいをもって暮らし、地域を作っていく「地域共生社会」の実現を目指して、以下の活動に取り組んだ。


(1) 住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる環境整備

① 「地域福祉協議会」の整備

町内会等の区域において、住民が主体的に地域課題を把握し、解決するための協議の場として「地域福祉協議会」の設立を支援し、地域課題を話し合う定例会等の開催を支援した。

【令和3年度設立した地域福祉協議会】2カ所

	地 区	設立日	取り組み内容
1	上 野	令和4年3月17日	<p><u>地域福祉協議会設立のお願い(12月9日)</u> ①町内会長及び民生委員に地域福祉協議会の趣旨について説明し、設立をお願いする。</p> <p><u>上野見守り隊定例会において地域福祉協議会を説明(12月16日)</u> ①地域福祉協議会の中核となる「上野見守り隊」の定例会で地域福祉協議会の趣旨を説明。設立の同意を得る。</p> <p><u>上野見守り隊定例会において地域福祉協議会の規約を確認(1月20日)</u> ①上野見守り隊定例会で、上野町地域福祉協議会規約(案)を確認</p> <p><u>地域福祉協議会開始式の事前打合せ(3月11日)</u> ①町内会長及び民生委員に地域福祉協議会開始式の流れについて確認</p> <p><u>上野町地域福祉協議会開始式(3月17日)</u> ①地域福祉協議会関係者10名、社協役員4名が出席し開始式を行う。</p> 
2	細山田東西	令和4年3月18日	<p><u>地域福祉協議会設立のお願い(12月9日)</u> ①自治会長及び民生委員に地域福祉協議会の趣旨について説明し、設立をお願いする。</p> <p><u>地域福祉協議会の規約を確認(1月11日)</u> ①自治会長及び民生委員に細山田東西地域福祉協議会規約(案)を確認</p> <p><u>地域福祉協議会開始式の事前打合せ(3月11日)</u> ①自治会長及び民生委員に地域福祉協議会開始式の流れについて確認</p> <p><u>細山田東西地域福祉協議会開始式(3月18日)</u></p>

			<p>①地域福祉協議会関係者9名，社協職員3名が出席し開始式を行う。</p> 
--	--	--	---

【既存の地域福祉協議会】

	地 区	設立日
1	高 牧	平成31年4月1日
2	鶴 羽	平成31年4月1日
3	古 前 城	令和元年6月1日
4	海 道	令和元年7月1日
5	花 里	令和元年7月1日
6	小 薄	令和元年8月1日
7	寿8丁目	令和元年10月18日
8	中央東（吾平）	令和2年4月16日
9	西原2丁目東	令和2年5月8日
10	中央麓（吾平）	令和2年5月11日

(2) 支えあいマップ作成の支援

支えあいマップ作りを通して，住民自身が地域の課題を共有し，解決を図るための取り組みを実施した。

地 域	日 時	場 所	参加者数
鶴 羽	令和3年5月8日(土) 10:00～	鶴羽町公民館	9人
大始良東	令和3年7月8日(木) 15:00～	大始良東集落センター	16人
古 江	令和3年7月12日(月) 10:00～	古江西公民館	19人


(3) ふれあいネットワークづくり事業

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように，地域の中で取り組まれている見守り活動について，継続的に活動されるよう支援を行った。

① 高齢者等の見守り隊に対する支援を実施

区 分		鹿屋	串良	吾平	輝北	計
見守り隊	総数	26	5	4	4	39
	既存の見守り隊の例会を通じた支援回数	41	0	4	0	45

② 新規に設立した見守り組織

名 称	設立日	活動内容
横山町女性見守り隊	令和3年6月25日	活動日(毎月1回程度) 見守り隊員16名が、町内の見守りが必要な高齢者等136名を見守る。町内5班に分かれて活動する。 

(4) ふれあい・いきいきサロン事業

生きがいがづくりや仲間づくりにつながる「ふれあい・いきいきサロン」が更に活発化するよう活動の支援を行うとともに、研究集会の参加支援を通して継続的な取り組みを促した。

① 研究集会への参加支援

今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、サロン合同研究集会 in かごつまは中止となった。

② ふれあい・いきいきサロンの立ち上げ支援、既存サロンへの支援を実施

区 分		鹿屋	串良	吾平	輝北	計
高齢者サロン (ヶ所)	新規立上げ	5	0	0	1	6
	廃 止	4	0	0	0	4
	総 数	86	16	26	18	146
子育てサロン	総 数	1	0	1	1	3
高齢者サロンへの参加支援回数		43	41	107	64	255
子育てサロンへの参加支援回数		3	0	0	3	6

③ サロン助成金を通じた支援（高齢者サロン等加入促進事業）

サロングループ等で新規加入した人数に応じて助成金を交付し、活動の推進を図った。

交付対象サロン数	87グループ（対前年度比：10グループの減）
助成金額合計	1,072,000円（対前年度比：604,000円の減）

④ レクリエーション用具の貸出

サロン等へレクリエーション用具の貸し出しを行った。

・貸出件数 113件(延61団体), 140台

用具名	貸出件数	貸出台数
スカットボール	22件	22台
ストライクボード	5件	5台
輪投げ	23件	26台
シャッフルゴルフ	2件	2台
スマイル射的	11件	11台
たいこ相撲	8件	8台
麻雀セット	5件	7台



その他	37件	59台
合計	113件	140台

(5) ドライブサロン事業の実施

市内の社会福祉法人7法人の経営する9つの福祉施設で実施。自ら交通手段を有しない高齢者等に対し、週1回法人のマイクロバス等を運行して、生鮮食料品等の買い物支援を行う「生活支援型」のドライブサロン事業を実施した。

① 生活支援型ドライブサロン

実施回数	104回（対前年度比：5回の増）
登録者数	76人（対前年度比：14人の減）
年間利用者数(延)	799人（対前年度比：25人の増）

(各地区の内訳表)



地区名	花岡地区	高隈地区
町内会	有武・小薄・高牧	重田・柏木
協力法人	社会福祉法人 愛光会 桜町学園・和光学園	社会福祉法人 恵仁会 鹿屋長寿園
開始日	平成27年4月2日	平成27年10月7日
実施日	毎週木曜日 13:00	毎週水曜日 13:00
買い物先	ニシムタ鹿屋店, スーパーかくち	ニシムタ鹿屋店
実施回数	10回	41回
登録者数	24人	9人
年間利用者数	平均8人, 延べ82人	平均10人, 延べ414人

地区名	大始良地区	串良地区
町内会	大始良東 (R3.7.27~)	富ヶ尾中央
協力法人	社会福祉法人 永生会 慈恵園	社会福祉法人 以和貴会 以和貴苑
開始日	平成28年8月29日	平成29年3月7日
実施日	毎週火曜日 10:00~	毎週火曜日 10:30~
買い物先	A コープ大始良店	タイヨー串良店
実施回数	18回	23回
登録者数	9人	7人
年間利用者数	平均7人, 延べ120人	平均5人, 延べ119人

地区名	花里地区	飯隈・南地区
町内会	花里	飯隈・南
協力法人	社会福祉法人 鹿屋恵友会 花岡の里	社会福祉法人 愛光会 総合サポートセンターラン
開始日	平成29年8月4日	平成29年11月15日
実施日	毎週火曜 10:00~	毎週木曜日 13:00~
買い物先	ニシムタ鹿屋店 スーパーかくち	A コープ大始良店
実施回数	2回	10回

登録者数	14人	13人
年間利用者数	平均6人, 延べ8人	平均6人, 延べ56人

② 生きがいきり型ドライブサロン

令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大により活動実績なし

③ 令和3年度ドライブサロン事業連絡会

日時	令和4年2月4日(金)
場所	リナシティかのや2F (ボランティア室)
開催方法	オンライン形式による
内容	・コロナ禍におけるドライブサロンの進捗状況について ・ドライブサロン事業担当者間の意見交換会
参加者	7法人9施設(13名)

2 多機関協働包括的支援体制構築事業

(1) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

1つの機関では対応できない複雑・複合的な課題がある世帯に対し、高齢・障がい・児童等の各分野が包括的に支援する体制の構築を推進した。また、支援過程で課題となるものについて協議し解決を図った。

① 相談支援包括化推進員の配置

相談支援包括化推進員を1名配置し、複合的な課題を持つ世帯に適切な支援機関をコーディネートし、分野横断的な支援を実施した。

② 複合的課題を抱える世帯への支援

a 相談件数 60件 (終結: 50件 継続: 10件)

(国の分類による世帯内訳)

世帯類型	件数
単身世帯 (64歳以下)	14
単身世帯 (65歳以上)	10
夫婦のみ世帯 (どちらか一方が64歳以下)	1
夫婦のみ世帯 (夫婦ともに65歳以上)	1
夫婦と未婚の子のみ世帯	11
配偶者のいない65歳以上の者と20歳以上の未婚の子のみ世帯	5
ひとり親世帯 (配偶者のいない65歳未満の者と20歳未満の未婚の子のみ世帯)	9
3世代世帯 (世帯主を中心とした直系3世代以上)	5
その他世帯	4
合計	60

(国の分類による課題内訳) ※1世帯に複数の課題があるため件数は一致しない。

相談類型	件数
病気	22
障がい (手帳有)	8
障がい (疑い)	20
その他メンタルヘルス (うつ・不眠・不安・依存症・適応障害)	20
経済的困窮	53
(多重・過重) 債務	7

住まい不安定	2
家計管理の問題	10
就職定着困難	6
社会的孤立（ニート・ひきこもり含む）	33
家族関係・家族の問題	35
介護	9
子育て	18
不登校	4
ひとり親	8
DV・虐待	9
コミュニケーションが苦手	8
合 計	272

(2) 相談支援包括化推進会議の開催

毎月1回、市内11機関の実務者で構成する相談支援包括化推進会議を開催し、分野横断的な包括的相談支援体制の構築を図った。

① 構成機関

	分野	機関名
1	高齢	鹿屋市地域包括支援センター（公益社団法人鹿屋市医師会）
2	障害	肝属地区障がい者基幹相談支援センター
3	困窮	生活困窮者自立支援機関（市福祉政策課内）
4	子ども	鹿屋市健康増進課
5	子ども	鹿屋市子育て支援課
6	子ども	鹿屋市教育委員会学校教育課
7	子ども	児童家庭支援センターつながり（社会福祉法人林愛会）
8	法律	法テラス鹿屋
9	地域	鹿屋市民生委員児童委員協議会
10	全般	鹿屋市福祉政策課
11	全般	鹿屋市社会福祉協議会

② 開催回数 12回

③ 検討内容

- ・複合的課題を持つ世帯の支援方法について（計6世帯）
- ・各機関の事業紹介と役割の共有について
- ・相談支援を包括化する方法について等

④ 相談支援包括化ネットワークの構築

世帯への包括的支援や相談支援包括化推進会議等を通じて、高齢・障がい・児童・困窮分野の支援機関と連携を図り実務的なネットワークの構築に努めた。また、下記
の多機関で構成される会への参加等を通じて連携を図った。

- ・青少年問題協議会実務者会（鹿屋市生涯学習課，年6回）
- ・鹿屋市要保護児童対策地域協議会実務者会（鹿屋市子育て支援課，年4回）
- ・肝属・曾於地区自殺対策ネットワーク会議（大隅地域振興局，年1回）
- ・権利擁護実務者会（鹿屋市高齢福祉課，年3回）
- ・住宅セーフティネット検討会（県居住支援協議会，年5回）

・肝属保護区保護司会

(3) 総合相談事業（心配ごと相談事業）の実施

一般相談では市民の様々な相談を受け、福祉サービス等の情報提供、専門機関へ橋渡しを行い、専門相談では、専門的な助言や情報提供を行い問題解決への適切な支援に努めた。

① 相談件数 362 件（前年度比 9 件増）

相談種別	相談内容	相談日・時間	相談員	開設日数	相談件数 (対前年度比)
一般相談	心配ごと・ 悩みごと	月曜日～金曜日 9:00～12:00	心配ごと 相談員	242 日	139 件 (△23 件)
法律相談	権利・相続 ・借地等	第 2 金曜日 13:00～16:00	弁護士	12 日	71 件 (5 件)
税務・経営相談	相続税・ 贈与税等	第 1 金曜日 9:00～12:00	税理士	12 日	24 件 (2 件)
財産・登記相談	相続・財産 ・登記等	第 2・3・4 金曜 日 9:00～12:00	司法書士	35 日	119 件 (31 件)
終活相談	死後事務・遺 言等	第 4 木曜日 9:00～12:00	行政書士	11 日	9 件 (△6 件)
合 計					362 件(9 件)

② 周知広報

掲載月	広報媒体	広報方法
令和 3 年 6 月	福祉プラザ通信第 161 号	全戸回覧
令和 3 年 9 月	福祉プラザ通信第 164 号	全戸回覧
令和 3 年 10 月	社協だより第 54 号	全戸配布
令和 3 年 11 月	福祉プラザ通信第 166 号	全戸回覧
令和 4 年 3 月	福祉プラザ通信第 170 号	全戸回覧

※社協ホームページに常時掲載

3 生活福祉資金貸付事業

(1) 県生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯、失業者世帯等の経済的自立や生活の安定を図るため、次の事業に取り組んだ。

① 借入相談件数 851 件

② 貸付件数及び金額 3 件 4,410,000 円

(対前年度比：件数は同じで 1,552,000 円の増)

資金種類	件数	金 額
福祉費（技能習得経費・支度経費）	1 件	2,630,000 円
教育支援資金	2 件	1,780,000 円
合 計	3 件	4,410,000 円

③ 新型コロナウイルス特例貸付事業

令和 2 年 3 月 25 日から新型コロナウイルス特例貸付の受付が開始され、令和 3 年度実績は以下の通りである。

資金種類	令和3年度		累計	
	件数	金額	件数	金額
緊急小口資金	323件	63,830,000円	992件	190,300,000円
総合支援資金(初回)	250件	133,350,000円	635件	332,100,000円
総合支援資金(延長)	72件	37,560,000円	226件	110,760,000円
総合支援資金(再貸付)	200件	106,080,000円	230件	120,030,000円
合計	845件	340,820,000円	2,083件	753,190,000円

④ 償還状況

区分	元金	利子	合計
前期末貸付残額	392,057,198円	15,133,731円	407,190,929円
当年度貸付額	385,228,000円	0円	385,228,000円
当年度償還額	7,944,300円	171,512円	8,115,812円
当年度末未償還額	769,340,898円	14,962,219円	784,303,117円

(2) 鹿屋市社会福祉協議会生活福祉資金小口貸付事業

① 償還状況

区分	元金	利子	合計
前期末貸付残額	650,500円	45,910円	696,410円
当年度貸付額	0円	0円	0円
当年度償還額	71,500円	0円	71,500円
当年度末未償還額	579,000円	45,910円	624,910円

② 法外援護事業

小口現金など他法他施策により対応できない一時的に生活に困窮している世帯に対し、10,000円を上限額として、現金を給付することで生活の安定と自立の促進を図った。

資金種類	件数	金額
法外援護	1件	5,000円

4 生活困窮者食料支援事業の実施

生活に困窮し、食料に困っている世帯に対し、食料支援を行った。

(1) 生活困窮世帯への当会備蓄食料品の提供

- ・支援件数：34件（対前年度比：13件の減）

5 かごしまおもいやりネットワーク事業

社会福祉法人の「地域における公益的な取り組み」として、福祉課題や生活課題を抱える地域住民等を対象に相談支援や経済的支援を実施した。

- ・支援件数：41件 38世帯（対前年度比：10件の減，9世帯の増）
- ・支援金額：1,088,412円（対前年度比：155,715円の増）
- ・支援内容：食料費，燃料費，公共料金，家賃等

6 ファミリー・サポート・センター事業

地域において育児又は家事の援助を受けたい人(利用会員)と育児等の援助を行いたい人(サポート会員)を募集・登録し、相互援助活動の調整業務を行い、子育て支援に努めた。

(1) 会員登録者数

・総会員数 666 人 (対前年度比：20 名の減)

区 分	会員数 (内 新規登録者数)
利用会員	335 人 (53 人)
サポート会員	290 人 (5 人)
両方会員	41 人 (5 人)
合 計	666 人 (63 人)



(2) 会員募集講習会の開催と出席者数

開 催 日	利用会員	サポート会員	両方会員	合計
令和3年6月11日(金)	1 人	2 人	1 人	4 人
令和3年10月28日(木)	2 人	1 人	2 人	5 人
令和4年2月27日(日)	0 人	2 人	2 人	4 人
随 時	46 人	0 人	0 人	46 人
出 前	4 人	0 人	0 人	4 人
合 計	53 人	5 人	5 人	63 人

(3) 全体交流会の開催

日 時	令和4年1月20日(木) 10:00~11:50
場 所	リナシティかのや3階 フィットネスホール
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション「楽しく動かして、体のコリをほぐす運動」 講師：中原 真己 氏 (ダンスインストラクター) ・体験発表 2 例 (利用会員と両方会員が 1 名ずつ発表) ・意見交換会 (紙面に意見を記入)
参加者数	会員 14 人, 子ども 2 人

(4) フォローアップ講習会の開催

日 時	令和3年11月16日(火) 10:00~12:00
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の緊急救命及び事故防止について (実技を含む) 講師：日本赤十字社鹿児島県支部指導員
参加者数	19 人

(5) 活動回数

・総活動回数 854 回 (対前年度比：138 回の減)

区分	内 容	回 数
預かり	保育施設の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり	3 回
	放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	2 回
	冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	2 回
	買い物等外出時の子どもの預かり	43 回
	母の体調不良による子どもの預かり	49 回
	保育施設の休園による子どもの預かり	2 回

	母の休養のための子どもの預かり	2回
送迎	保育施設までの送迎	200回
	習い事等の送迎	375回
	面会交流時の送迎	68回
	発達支援センターへの送迎	65回
家事援助	産後の家事援助	43回

(6) その他

① 援助活動に関する事前打合せ件数 43件

② 会報の発行

鹿屋市ファミリー・サポート・センターだより 2回発行（会員，保育園等に配布）

③ 広報啓発

- ・鹿屋市の広報紙・・・4回
- ・社協だより・・・2回
- ・福祉プラザ通信・・・3回
- ・社協ホームページ・・・3回
- ・福祉情報配信・・・3回

※その他の取り組み

- ・市内の生涯学習施設や子育てひろば，協力店舗などに講習会開催のポスターの掲示を依頼した。

7 つどいの広場事業

乳幼児をもつ親とその子どもが気軽につどい，打ち解けた雰囲気の中で語り合い，相互の親睦交流と保育士による育児相談を行うことなどを目的に，つどいの広場“りな”を開設して，その利用の推進を図った。

(1) アドバイザーの配置

保育士の資格を有するアドバイザーを3名配置し事業を実施した

(2) 利用状況

開設日数	266日
利用者数	3,949人〔内 講習会等参加者 240人含む〕 (対前年度比：13人の増)
1日平均の利用者数	15人



(3) 講習会 開催回数：12回（延参加者数 134人）

(4) イベント 開催回数：6回（延参加者数 106人）

(5) 相談件数 138件（対前年度比：71件の増）

【主な相談内容】

- ・発育・発達（歯の生え方，言葉が遅い，ハイハイが出来ない，体重の変化，歩き方）
- ・育児方法（夜泣き，トイレトレーニング，歯磨き，授乳時間，姉弟の育て方，イヤイヤ期の対処）
- ・その他（幼稚園入園，保育園探し，仕事復帰，公園探し，外出時の食事，妊娠・出産時の不安，子どもの世話，ご飯を食べない，ワクチン接種，友達との接し方，その他の子育て施設，コロナ禍の育児）

8 ボランティアセンター事業

福祉教育の実践や高齢者、障がい者の方々とふれあう機会の充実など、市民の「福祉の心」の醸成を図るとともに、地域福祉を支えるボランティア活動の充実や福祉イベントを通じて福祉意識の向上を図るなど、ノーマライゼーションの実現に努めた。

(1) 福祉教育の推進

① 福祉ボランティア作文コンクールの実施

対 象 者	小学生・中学生・高校生
応 募 数	87点 [内訳] 小学校 23点, 中学校 31点, 高等学校 33点
審 査 結 果	最優秀賞 4点, 優秀賞 6点
そ の 他	最優秀賞, 優秀賞受賞作品を ホームページ・福祉プラザロビー掲示



② ボランティア活動推進校における福祉教育の支援

ア ボランティア活動推進校の指定

小学校 20校, 中学校 9校, 高等学校 4校 計 33校

イ ボランティア活動推進校連絡会の開催

日 時	令和3年6月23日(水) 14:30~16:30
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
対 象 者	ボランティア活動推進校の担当教諭等
出 席 者 数	23校 23人
内 容	①児童・生徒のボランティア活動普及事業の事務処理等について (説明: 社協職員) ②地域・学校で育むボランティア活動について (講師: 社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 ボランティアセンター 推進員 大迫 元信 氏)

ウ 福祉体験出前講座の実施

回 数	16回 (小学校 6回 [5校], 中学校 7回 [6校], 一般 3回)
受 講 者 数	1,087人 (小学校 393人, 中学校 636人, 一般 58人)
実 施 先	大始良小, 上小原小, 田崎小, 西原小 (2回), 細山田小, 鹿屋東中, 高隈中, 輝北中, 吾平中, 大始良中 (2回), 田崎中, 自衛隊, おおすみ障害者就業・生活支援センター, 打馬友和会



エ 福祉体験教材等の貸出

高齢者疑似体験セットの貸出	11件: 142セット
車イスの貸出	教材8件: 72台
ボランティア手帳の配布	5件: 214冊

白杖・アイマスクセット貸出	9件：104セット
---------------	-----------

オ 児童・生徒のふれあいボランティア活動事業の実施

手帳発行枚数 小学校 8校, 中学校 7校 計 15校 3,712枚

(2) ボランティアの育成

① わくわくボランティア体験学習の開催

日 時	令和3年7月26日(月) 10:00~11:30
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
対 象 者	小学校4・5・6年生の児童
参 加 者 数	25人(内訳:4年生11人・5年生10人・6年生4人)
内 容	①ボランティア活動について(説明:社協職員) ②「気づき, 考え, 実行」 ~防災について考え, いのちの大切さを学ぶ~ (講師:日本赤十字社鹿児島県支部 係長 宮元 勝氏)



② サマーボランティア体験学習の開催

日 時	令和3年7月28日(水) 10:00~12:00
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
対 象 者	中学生, 高校生, 専門学生, 大学生等
参 加 者 数	27人(内訳:中学生7人・高校生20人)
内 容	①ボランティア活動について(説明:社協職員) ②「守るいのち, ひろめる防災」 ~防災について考え, 思いやりの心を育む~ (講師:日本赤十字社鹿児島県支部 係長 宮元 勝氏)



(3) ボランティアセンター機能の充実

① ボランティアセンター運営委員会の開催

日 時	令和3年6月30日(水) 14:00~15:30
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
出 席 者 数	ボランティアセンター運営委員9人
内 容	・令和2年度ボランティアセンター事業実施報告について ・令和3年度ボランティアセンター事業実施計画について

② ボランティア活動に関する相談・情報提供・斡旋

相 談 件 数	91件
相 談 内 訳	ボランティア活動希望 9件, ボランティア要請・依頼 4件 福祉教育相談 27件, その他(保険・収集等) 51件

③ ボランティア登録者等へのアンケート調査の実施

対 象 者 数	241人(内訳:登録個人160人, 登録団体代表43人 保険加入個人28人, 保険加入団体10人)
回 収 数	77人(回収率32%)
調 査 内 容	ボランティア活動経験の有無, 頻度, 内容, 課題, 満足度等

④ ボランティア（個人・団体）の登録状況

ボランティア登録カードの見直し・活動意向調査を行い、登録者の整理を行った。

個人ボランティア	39人
ボランティア団体	24団体 12,973人

(4) ボランティアの活動支援

① ボランティア活動保険の加入状況

個人ボランティアの活動保険加入	10人（対前年度比：65人の減）
ボランティア団体の活動保険加入	34団体 1,148人 （対前年度比：19団体 487人の減）

② ボランティア活動保険掛金の助成

期 間	令和3年4月1日から令和3年5月31日までの加入者
助成対象者数	1,107人（対前年度比：23人の減）
助成金合計額	110,700円（1,107人×100円）

(5) 広報啓発活動

社協ホームページ	ボランティア活動情報欄による情報の提供
社協だより	第52号・第53号・第54号・第55号
社協ボラセン通信	第12号

9 障害者社会参加促進事業

障がい者の社会参加を促進する事業を実施し、障がい者の社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動への参加促進を図るため、事業実施に努めた。

(1) 各種奉仕員養成講習会の開催

① 手話奉仕員養成講習会の開催（基礎課程）

期 間	令和3年6月11日(金)～令和4年2月25日(金) 19:00～21:00
回 数	30回（60時間）
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室又はボランティア室
受講者数	8人
修了者数	8人

② 点訳奉仕員養成講習会の開催

期 間	令和3年6月16日(水)～令和3年11月17日(水) 13:00～15:00
回 数	20回（40時間）
場 所	リナシティかのや2階 ボランティア室
受講者数	3人
修了者数	3人

③ 音訳奉仕員養成講習会の開催

期 間	令和3年6月17日(木)～令和3年11月18日(木) 13:30～15:30
回 数	10回（20時間）
場 所	リナシティかのや2階 ボランティア室
受講者数	2人
修了者数	2人

④ 要約筆記奉仕員養成講習会の開催

期 間	令和3年6月8日(火)～令和4年2月8日(火) 13:00～16:00
回 数	11回 (33時間)
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室又はボランティア室
受講者数	9人 ※新規受講者1人, サークル会員8人
修了者数	8人 ※新規受講者1人が2回目から不参加のため2回目以降はサークル会員を対象としたフォローアップ講習へ切り替えた

⑤ 声の広報等発行事業

文字による情報入手が困難な障がい者のために、点訳、音訳の方法により、市の広報等や障がい者の方々が地域生活を送るうえで必要度の高い情報などを定期的に提供した。

広報種別	提供方法	発行回数	利用人数
広報かのや	音訳	12回	10人
広報かのやお知らせ版	音訳	12回	10人
社協だより他	音訳	4回	10人
	点訳	5回	3人

(2) 意思疎通支援事業

聴覚障がい者の方々が、円滑な意思疎通を図れるよう意思疎通支援者の派遣を行った。

① 意思疎通支援者の派遣

ア 手話通訳者の派遣

回数, 派遣人数, 活動時間	28回・46人・95時間22分
主な派遣用務	市主催講演会, 病院受診等

イ 要約筆記者の派遣

回数, 派遣人数, 活動時間	6回・10人・19時間15分
主な派遣用務	市主催講演会, 学校行事等

(3) 手話通訳者等専門研修会の開催

日 時	令和3年12月10日(金) 14:00～16:00
場 所	リナシティかのや2階 ボランティア室
対象者	登録手話通訳者
参加者数	3人
内 容	手話通訳技術研修 (講師: 鹿児島県手話通訳問題研究会 会長 横溝 和恵 氏)

(4) 福祉機器リサイクル事業

不要になった福祉機器について、これを必要とする方に無料で斡旋した。

区 分	提供台数	譲渡希望台数 (うち提供済分)
電動ベッド	2台	2台(2台)
車イス	10台	8台(8台)

(5) 福祉機器貸出事業の実施

- ① 車いすの無償貸出(車いすの貸出: 105件, 105台)

10 高齢者元気度アップポイント事業

65歳以上の高齢者のボランティア活動や健康づくり等の取り組みに対し、ポイントを付与することで、高齢者の社会参加促進に努め、併せて健康寿命を延ばし、要介護状態への進行を予防するよう支援した。

(1) 高齢者元気度アップ・ポイント事業の登録

登録者数	3,026人(内 新規登録者 268人)	対前年度比：236人の増
------	----------------------	--------------

(2) ポイント転換交付人数及び転換交付金

ポイント転換交付人数	710人	対前年度比：300人の減
ポイント転換交付金額	1,948,000円	対前年度比：1,073,000円の減

※令和2年度活動実績に基づく令和3年度交付分

(3) 高齢者元気度アップ・ポイント事業の広報啓発

高齢者元気度アップ・ポイント事業の広報・啓発を図るため、関係機関・団体の会議等へ参加し、同事業の概要説明やチラシの配布を行った。

11 高齢者地域支え合いグループポイント事業

65歳以上の高齢者を含む団体の互助活動に対し、ポイントを付与して活動を活性化し、高齢者を地域全体で支えるよう支援を行った。

(1) 高齢者地域支え合いグループポイント事業の周知及び登録

① 高齢者地域支え合いグループポイント事業の広報・啓発を図るため、関係機関・団体の会議等で同制度の概要説明やチラシの配布を行った。

② 活動団体（グループ）の登録

登録団体数 267団体〔内 新規登録団体 26団体〕（対前年度比：17団体の増）

③ 地区別登録状況（活動種別） ※休会団体5団体を含む

地区	校 区	高齢者支援				地域活性化			合計
		サロン	運動	見守り	施設	地域	子育て	子ども館	
東部	串良中	8	4	0	0	0	0	0	12
	上小原中	2	0	1	0	0	0	0	3
	細山田中	3	1	0	0	1	0	0	5
	鹿屋東中	16	13	3	2	4	1	0	39
西部	第一鹿屋中	16	17	2	1	0	5	0	41
	花岡中	9	11	2	0	3	1	0	26
南部	吾平中	26	11	1	2	3	1	0	44
	田崎中	3	5	3	2	1	0	0	14
	大始良中	17	6	3	0	0	1	0	27
北部	輝北中	17	3	0	1	1	1	0	23
	鹿屋中	14	13	4	0	2	1	0	34
	高隈中	2	1	0	0	1	0	0	4
合 計		133	85	19	8	16	11	0	272

④ 高齢者地域支え合いグループポイント事業ポイントの付与

区 分		令和3年度	令和2年度	増 減
【前期】 4月～9月	ポイント付与グループ数	199グループ	192グループ	7グループ増
	ポイント付与転換交付金	2,935,000円	2,457,000円	478,000円の増
【後期】 10月～3月	ポイント付与グループ数	223グループ	208グループ	15グループの増
	ポイント付与転換交付金	2,681,000円	2,595,000円	86,000円の増
合 計	ポイント付与グループ数	232グループ	225グループ	7グループの増
	ポイント付与転換交付金	5,616,000円	5,052,000円	564,000円の増

12 やすらぎの里づくり支援事業

鹿屋市輝北ふれあいセンターを拠点施設に様々な取り組みや活動を展開することにより、生きがいつくりや健康維持、生活の質の向上に努めた。

(1) 各種支援行事（講演会等）の実施

① 野菜・花づくり教室

実施回数	3回
日 時	【事前奉仕活動】令和3年4月20日(火) 10:00～11:30 【第1回】令和3年6月20日(日) 10:00～11:30 【第2回】令和3年10月24日(日) 10:00～11:30
場 所	鹿屋市輝北ふれあいセンター（車庫他）
内 容	【事前奉仕活動】センター前の市道に紫陽花の植栽作業 （まちを明るくする会 世話人 園田 耕二氏） 【第1回】野菜・花のプランター栽培（春作） （まちを明るくする会 世話人 園田 耕二氏） 【第2回】野菜・花のプランター栽培（秋作） やすらぎ無人販売所の建設 （まちを明るくする会 世話人 園田 耕二氏）
延受講者数	51人



※やすらぎ無人販売所実績

やすらぎサロン利用者及び野菜・花づくり教室の参加者を対象に、生きがいつくり支援を目的として、各家庭菜園の余剰生産物を出荷していただき、土曜日、日曜日、祝日にふれあいセンター駐車場にて無人販売を実施して、売上は出荷者に還元した。


ア 出荷生産者数・・・延8人

イ 販売品受入数・・・165袋（1袋100円）


ウ 販売金額・・・13,800円



② 子育て講座

実施回数	2回	
日時	【第1回】令和3年7月6日(火) 10:00~11:30 【第2回】令和3年9月28日(火) 10:00~11:30	
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター（会議室／和室）	
内容	【第1回】音楽療法と子育てについて （音楽療法士 坂中 慈子 氏） 【第2回】ママたちのリフレッシュエクササイズ （ダンスインストラクター 中原 真己 氏）	
延受講者数	24人	

③ 小中学校学習支援教室

実施回数	4回	
日時	【第1回】令和3年8月8日(日) 10:00~15:00 【第2回】令和3年8月10日(火) 10:00~11:30 【第3回】令和3年12月25日(土) 10:00~11:30 【第4回】令和3年12月26日(日) 10:00~13:30	
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター（会議室／和室／調理実習室／車庫）	
内容	【第1回】クレパス図画作成教室 （絵画デザイン研究所 松山 豊 氏） 【第2回】俳句教室 （有ジャブラン 山下 久代 氏） 【第3回】しめなわ／門松作成教室 （地元有識者 田之上 照徳 氏） （まちを明るくする会 世話人 園田 耕二 氏） 【第4回】子ども料理教室 （地元有識者 脇田 るみ子 氏, 弓削 恵子 氏, 栗山 タカ 氏）	
延受講者数	26人	

④ 高齢者介護予防歯科検診

実施回数	4回	
日時	【第1回】令和3年10月6日(水) 13:00~14:00 【第2回】令和3年10月7日(木) 13:00~14:00 【第3回】令和3年10月13日(水) 13:00~14:00 【第4回】令和3年10月14日(木) 13:00~14:00	
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター（会議室／和室）	
内容	【第1~4回】歯科検診及び講話（口腔ケアについて）	
講師	きらら歯科クリニック院長 吉見 博敏 氏 歯科衛生士 下原 里美 氏	
延受講者数	63人	

⑤ ふれあいレクリエーション

実施回数	8回
日時	【第1回】 令和3年7月2日(金) 13:30~14:30 【第2回】 令和3年7月5日(月) 13:30~14:30 【第3回】 令和3年7月8日(木) 13:30~14:30 【第4回】 令和3年7月9日(金) 13:30~14:30 【第5回】 令和4年1月7日(金) 13:30~14:30 【第6回】 令和4年1月12日(水) 13:30~14:30 【第7回】 令和4年1月13日(木) 13:30~14:30 【第8回】 令和4年1月14日(金) 13:30~14:30
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター (機能訓練室/和室)
内容	【第1~8回】 介護予防体操レクリエーション
講師	鹿屋市レクリエーション協会 介護福祉士 松園 タミ子 氏
延受講者数	138人

⑥ 生活習慣病予防のための食生活講演会

回数	1回
実施日時	令和3年11月26日(金) 13:30~14:30
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター (和室)
内容	生活習慣病と消化器がん検診について
講師	消化器がん検診推進機構 会長 草野 健 氏
受講者数	25人



⑦ 高齢男性のための料理教室

回数	4回
実施日時	【第1回】 令和3年10月25日(月) 11:00~13:30 【第2回】 令和3年10月27日(水) 11:00~13:30 【第3回】 令和3年10月28日(木) 11:00~13:30 【第4回】 令和3年11月8日(月) 11:00~13:30
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター (調理実習室/和室)
内容	【第1~4回】 料理試食及び調理, 栄養指導全般
講師	地元有識者 脇田 るみ子 氏, 弓削 恵子 氏, 栗山タカ 氏
延受講者数	22人

⑧ 趣味講座

回数	2回
実施日時	【第1回】 令和3年6月27日(日) 10:00~11:30 【第2回】 令和4年3月20日(日) 10:00~11:30
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター (会議室)
内容	【第1回】 将棋 (入門編) (輝北コミュニティーセンター 館長 哥丸 道秋 氏) 【第2回】 健康麻将 (入門編) (日本健康麻将協会 鹿児島支部 主任 入口 聖也 氏)



延受講者数	23人
-------	-----

⑨ 温泉入浴講習会

回数	2回
実施日時	【第1回】令和4年1月20日(木) 13:30~15:00 【第2回】令和4年3月28日(月) 13:30~15:00
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター (和室)
内容	第1回 温泉の基礎知識について 第2回 温泉の入浴方法について
講師	【第1~2回】温泉ソムリエ協会 師範 六三四氏
延受講者数	55人

(2) 鹿屋市通所付添サポート事業の実施

鹿屋市輝北ふれあいセンターに自力で参加が難しい高齢者等に対し、サポーター登録を行い既定の講習を受けたサポーターが送迎を行うことで、高齢者等の社会参加と介護予防等を推進する。

登録者数	35人
延べ利用者数	443人
実施日数	172日
付添サポーター数	10人

(3) 鹿屋市やすらぎサロン事業の実施

高齢者が身近な地域に集い、介護予防又は認知症予防及び人と人が支え合う地域づくりを目指すため、サロン活動の実施に努めた。

登録者数	82人
延べ利用者数	3,030人 (1日平均17人)
実施日数	182日

※買い物等支援事業

輝北ふれあいセンターのやすらぎサロン利用者で、輝北総合支所やJA輝北支店などに用事がある方や買い物がある方を社協輝北支所の職員が送迎を行なうことで、利用者の利便性を図っている。

ア 利用者数・・・582人

イ 運行回数・・・266回

ウ 利用状況・・・Aマート (137回), JA輝北支店 (76回), 郵便局 (60回)

13 広報啓発活動等の実施 (福祉情報配信サービス)

パソコンや携帯電話のメール機能を利用し、福祉イベントやボランティア情報、休日の当番医、イベント情報等の配信や急を要する不審者等の情報など、暮らしに役立つ福祉情報の配信に努めた。

登録者数	1,015人 (内 新規登録者数19人)
配信件数	83件

14 共同募金・歳末たすけあい募金配分金事業

鹿児島県共同募金会から一般募金及び歳末たすけあい募金の配分があり、様々な福祉活動を行う団体等に配分した。

(1) 一般募金配分金【配分合計額】6,234,825円（対前年度比：237,410円の減）

配分内容	配分金
町内会福祉推進助成金	1,452,000円
福祉活動団体助成金	1,450,000円
ふれあい・いきいきサロン等助成金	40,000円
高齢者祝品等事業	251,000円
公募助成事業(町内会, ボランティア団体等)	1,162,000円
児童生徒への学習支援事業	512,000円
生活困窮者支援事業	252,000円
ドライブサロン事業	74,000円
民生委員活動啓発事業	200,000円
ボランティア団体等活動用備品(長机, 椅子)	348,000円
事業事務経費	493,825円

(2) 歳末たすけあい募金配分金【配分合計額】2,518,225円（対前年度比：1,327,278円の減）

配分内容	配分金
90歳以上の高齢者世帯(歳末見舞品事業)	748,280円
地域歳末たすけあい助成事業(公募事業)	758,000円
児童福祉施設等への助成金	150,000円
生活困窮者支援	184,000円
広報啓発事業(社協だより)	359,000円
事業事務経費	318,945円

15 共同募金運動への協力

鹿屋市共同募金委員会が実施する共同募金運動に協力した。

(1) 広報啓発活動

① 赤い羽根, ポスター, パンフレット, チラシ等募金資材を使った広報

② 社協だよりに掲載

【第54号(令和3年10月28日発行)】【第55号(令和4年1月13日発行)】

③ 広報かのやに掲載(令和3年9月28日号)

④ 懸垂幕の設置(市役所庁舎に設置)

⑤ 横断幕の設置(リナシティかのや3階北田交差点側に設置)

(2) 赤い羽根共同募金寄付型自動販売機(清涼飲料水)の設置 2台

【社協本所(福祉プラザ内)及び社協本所分室(市社会福祉会館内)】実績 92,167円

(3) 店舗への募金箱の設置 2カ所(Aコープ大始良店, Aコープ肝付あいら店)

(4) 募金活動

① 一般募金

ア 運動期間(10月1日から12月31日まで)

イ 街頭募金の実施

・実施日 令和3年10月1日(金)

・場所 市内8ヶ所のスーパー, ホームセンターなど

・募金ボランティア数 72人

・募金実績 76,257円

ウ 各種別及び本支所の募金総額 9,290,000 円（前年度比：431,000 円の減）

（内訳）

募金種別	募金額
戸別募金	6,740,370 円
街頭募金	76,257 円
法人募金	1,207,300 円
学校募金	367,671 円
職域募金	138,587 円
イベント募金	27,110 円
個人募金	437,581 円
その他の募金	295,124 円
合 計	9,290,000 円



② 歳末たすけあい募金

ア 運動期間（12月1日から12月31日まで）

イ 街頭募金の実施

- ・実施日 令和3年12月1日(水)
- ・場 所 市内8ヶ所のスーパー、ホームセンターなど
- ・募金ボランティア数 72人
- ・募金実績 98,192円

ウ 各種別及び本支所の募金総額 3,236,000 円（前年度比：68,775 円の増）

（内訳）

募金種別	募金額
戸別募金	2,411,747 円
街頭募金	98,192 円
法人募金	9,000 円
学校募金	1,846 円
職域募金	222,169 円
個人募金	230,377 円
その他の募金	262,669 円
合 計	3,236,000 円



③ 各種別募金の内容

- ・戸 別 募 金 【町内会の各世帯に募金協力依頼】
- ・職 域 募 金 【市内の官公署等の職員に募金協力依頼】
- ・街 頭 募 金 【市内の8店舗に協力依頼し、店舗の利用客等に募金協力依頼】
- ・法 人 募 金 【市内の企業・病院等に募金協力依頼】
- ・学 校 募 金 【市内の小中高等学校等に通学する児童・生徒等に募金協力依頼】
- ・個 人 募 金 【一般の個人に募金協力依頼】
- ・イベント募金 【各種イベントでの募金活動】
- ・その他の募金 【企業や団体が催しなどで得た益金や公共施設等に設置した募金箱、共同募金自動販売機の益金等】

16 災害救援活動

(1) 災害ボランティアセンターの設置・運用に向けた各種団体等との体制づくり

- ① 4者（市役所・鹿屋青年会議所・大隅災害復旧ボランティア・社協）による連絡会の開催
災害が発生した場合に備え、各種団体と連絡会を開催し連携強化に努めた。

日時	令和3年5月18日（火） 16時00分～17時00分
場所	市役所 401 会議室
出席者数	10名（社協1名，市4名，JC2名，大隅災害Vo3名）
内容	・大雨や台風シーズンに備えた連絡体制の確認について ・4者による研修について 他

② 4者による研修会の開催

4者の連携強化を図ることを目的に災害ボランティアセンター設置・運用に関する研修会をオンラインで実施した。

日時	令和3年7月1日（木） 16:30～17:30
場所	ボランティア室他
受講者数	29名（社協16名，市5名，JC5名，大隅災害Vo3名）
内容	オンライン研修 「災害ボランティアセンターの意義や役割について」 講師 鹿児島県社会福祉協議会ボランティアセンター 所長 辻 健一 氏

③ 町内会での災害模擬訓練の実施

地域での防災・減災の取り組みを推進することを目的に災害模擬訓練を実施した。

日時	令和3年7月12日（月） 10:00～12:00
場所	古江西公民館
参加者数	19名（町内会9名，社協3名，市2名，大隅災害Vo3名，包括2名）
内容	「防災支え合いマップづくり」 講師 鹿屋市安全安心課職員



(2) 災害支援事業

火災や風水害等による被災者に対して、社協，共同募金，日赤から救援物資や見舞金を支給した。

社協 災害見舞金	・全 焼 7件×20,000円＝140,000円 【合計 140,000円】
共募 災害見舞金	・全 焼 7件×15,000円＝105,000円 ・床上浸水 2件×10,000円＝20,000円 【合計 125,000円】
日赤 災害見舞金 災害救援物資	・被災された10世帯に救援物資（毛布，タオルケット，ブルーシート，緊急セット）を配布した。

17 日本赤十字社会員増強運動への協力

日本赤十字社鹿児島県支部鹿屋市地区が実施する会員増強運動に協力した。

(1) 広報活動

- ① 5月は日本赤十字社会員増強運動月間として広報啓発に努めた。
 - ・社協だより第52号に掲載（令和3年4月28日発行）
 - ・広報かのや(令和3年5月13日号)を活用しての広報
 - ・ポスター、パンフレット、チラシ等募金資材を使った広報
 - ・懸垂幕の設置（市役所庁舎に設置）
 - ・横断幕の設置（リナシティかのや3階北田交差点側に設置）

(2) 会員募集

- ① 募集期間 令和3年4月1日から令和4年3月31日
(5月は会員増強運動月間と定めている。)
- ② 納入実績額 14,140,943円（前年度比：4,628,296円の増）
(内訳)

区分	会費額
個人・法人等	8,398,943円
ダイレクトメール	5,742,000円
合計	14,140,943円



救いを託されている。 